



①センターキャップは黒地に金文字のVSがデフォルトとなるが、セレクトオプションで赤地に金文字のVS、オプションで黒地に銀のW文字／赤地に銀のW文字も用意あり。②ボルトホール付近から飛び出した30本のラインは2本1組で交差し、リムへと放たれることでメッシュという名の芸術を作り上げる。カラーはシルキーリッチシルバーのほか、ブリリアントシルバーブラックとマットダークガンメタが標準設定だ。もちろん、愛車のカラーに合わせたオーダーも承る。③ステップリムは21、20、19インチで、フルリバースリムは20、19、18インチで選択可能。パワフルマイトリムのフィニッシュも質感の向上に拍車をかけた。

PRICE LIST	*特価P.C.D.加工代含む
18×7.0～14.5J	9万4600～11万4400円
19×7.5～15.5J	11万1650～14万1350円
20×7.5～15.0J	12万2650～15万7000円
21×8.0～12.0J	14万800～15万7300円



15組の直線が織りなすアートと呼びたいメッシュ。アウディにお乗りになられる方は、美しいものが好きな方だ。私は個人的にそう捉えている。ドイツの自動車メーカーには威厳を象徴するもの、走りを標榜するもの、万人に向けたものなど、それぞれ個性があるが、アウディのそれは、まさに美しさ。そう捉えれば、金属の塊から生まれたとは思えないほどの滑らかなボディラインや、先進性を意識したメカニズムの数々にも説明がつく。いかなるシーンにおいてもスマートに走り抜け、幸福感のある残像を残していく。これぞメーカーとしてのアウディが求めるもの、そしてアウディオーターが求めるものの正体ではないのだ。だからこそ、ホイール交換一つをとっても難易度は非常に高いのだが、それを杞憂に終わらせるホイールがある。ワークが誇る傑作「VS XV（アイエス・エックスフヴ）」だ。同シリーズは、複雑さの中に高い強度ときらめきを求めたメッシュホイールのカテゴリーに分類。そして、ディスク面からリムの先端までに段差がない、いわゆるフルリバースリムも用意し、あまたあるホイールの中でも独自の存在感を確立したモデルだ。この個性こそアウディ、特にA7のような上級車種の足にふさわしいものであり、VS XVを履くことで貴方のアウディの価値はさらなる高みへと誘われる。気品系メッシュの最高峰と称されるVS XV。美しいアウディのゴールはここにある」と、アウディを選ぶほどの審美眼をお持ちのオーナーならば、激しく同意していただけるに違いない。



長く、幅の広いA7スポーツバックの体軀を一層強調しているのは、エアレックス製エアサスによるローダウンの仕業。RSルックバンパーとリアディフューザー装着も、躍動感の演出に欠かすことができない。

VS_{xv}

美しきアウディに、美しきVSを。

日本製だからその品質と美を、ご自身のアウディに。そうお考えの方にリコメンドしたいのが、ワークの傑作VS XVだ。メッシュホイールの頂点に立つ逸品なら、A7に不足はない。

